

7. 詳細説明資料

<短歌勉強風景>

① 国枝先生による添削授業（月1回）



② 自主学習会（月3～4回）

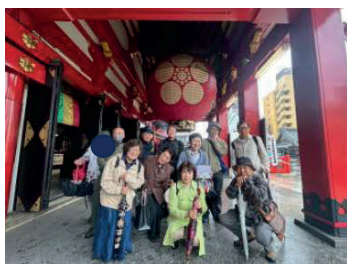


- ①添削⇒国枝先生に1首提出し、その短歌の良い所・直す所より良くなる所を御指導頂きます。
 添削前：首だした効率主義を引っ込める亀がたたずむ朝の水辺よ
 添削後：効率主義またぞろ首を持ち上げて亀ならば首朝（あした）に引き込め
 御指導内容：結句の「水辺よ」とまで詠うと歌の範囲が広がりすぎますので省略して主題の効率主義のことに言葉を集中するといいです。
- ②日常の中で短歌を詠む習慣を作るために、毎回各自1首ずつ持ち寄り、互いに感想を述べます。自分とは異なる感性に心が動かされ、視野が広がります。

<吟行会>

大須観音 大須商店街 七寺

秋の吟行会 熱田神宮 七里の渡し



2025年度は、2度の吟行会を実施しました。名所旧跡を散策しながら、感じたことを、短歌に詠みました。

<文化祭>



11月の文化祭では部員それぞれが2～3首発表し、多くの方に御入場いただき盛り上がりました。また、その場で短歌を作ってくださった方もあり、一緒に掲示しました。

作品発表の機会は文化祭のほかに、ロビー展もあります。2月には中区の市民ギャラリーでの展示を行いました。